

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

設置型授乳室「mamaro」の導入

2 取組期間

平成 29 年度～（継続中）

※平成 30 年 2 月 5 日から平成 31 年 1 月 31 日までの期間、実証実験として導入。

3 取組概要

平成 29 年 7 月に、民間企業 2 社（株式会社ホープと T r i m 株式会社）の共同企画による設置型授乳室「mamaro」の設置について提案があり、乳幼児とその保護者が多く来館する地域子育て支援センター「おむらんど」に、平成 30 年 2 月 5 日（月）に設置しました。

4 背景・目的

本市では、在宅で子育てをする家庭への支援の一つとして、地域子育て支援センター「おむらんど」を設置しています。

「おむらんど」では、0 歳から小学生までの子どもの成長を育むための遊具を設置するほか、保護者からの子育てに関する相談、保護者同士の情報交換の場となるよう取り組んでいます。

「おむらんど」には、個室及びパーテーションで囲った授乳室を設置していましたが、週末や祝日等には多いときで 1 日約 300 人の親子が訪れ、授乳室が不足する状況がありました。

このような状況の中、企業からの提案を受け、セキュリティ性が高く、安全に安心して授乳ができる環境を整備することにより、「おむらんど」をより多くの方に利用していただき子育て支援の充実を図っていくことを目的に、設置型授乳室を設置しました。

5 取組の具体的内容

- 平成 29 年 7 月 民間企業（株式会社ホープ）から提案
- 平成 29 年 11 月 設置内定
- 平成 30 年 2 月 5 日 自治体として全国初の設置（除幕式開催）

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

特になし

7 取組の効果・費用

設置から 3 月末までの利用者数 366 人（内、5 分以上利用者 119 人）。
設置後、アンケート調査を実施し、「静かで安心して授乳できる」等の意見がある一方で、「もう少し広い方が良い」等の意見があり、今後も利用者の感想、意見等を調査し効果を検証します。
設置に関しての費用負担はありません。電気料（毎月 400 円）についても民間企業（株式会社ホープ）が負担しているため、市として費用の負担はありません。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

特になし

9 今後の予定・構想

平成 30 年 2 月 5 日から平成 31 年 1 月 31 日までの期間は、実証実験として導入していることから、利用状況等及びアンケート結果を見ながら、今後の継続及び増設（可能であれば）等について検討していきます。

10 他団体へのアドバイス

子育てをしている家庭の目線に立つと、授乳室を設置している施設が少ないことに気付きます。

今回の授乳室の導入は、授乳をする方が人目を気にすることなく、安全に安心して授乳ができる環境を整備することができ、子育て支援の充実に寄与するものです。

また、自治体として初の取組がメディアに取り上げられることで、他自治体の取組のきっかけとなり、さらには、地域の方の意識の醸成を図ることができ、ハード面以外の部分での子育て支援の充実に寄与するものです。

11 取組について記載したホームページ

ホームページ掲載なし